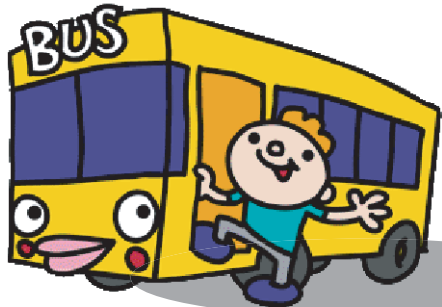


街めぐり あなたはどっち? バス vs チャリ

バス組



バスは、遠い目的地でも近くまで連れて行ってくれるから楽ちんだね！広い範囲が行動できるよ。体の不自由な人も安心して乗れるね。

萩原 扶未子 (はぎはら ぶみこ)

キャリアカウンセリングや就職指導、ITコンサルティング等を手がける会社の社長を務め、講演会・ジャーナリスト、大学院で「ジェンダー別経営者ストレス」の研究など、多忙な日々を送っています。「ちょっと高い視線から見ると見慣れていた風景が違って、見入ってしまいます。バスの中のいろんな人の触れ合いも楽しいものです。」

木谷 弘司 (きだに ひろし)

1959年生まれ。金沢市 都市計画課に在籍。平成に入って以降ずっと都市計画と交通政策に関する仕事に携わり、近年は大学の先生方との地方都市に関する研究を、ライフワークとして生活に組み込んでいます。仕事柄、たくさんの人達がバスを利用し、楽しんでくればと、日々考えています。

宮本 秀夫 (みやもと ひでお)

1950年金沢生まれ。東京で4年修行の後、金沢に戻って家業の書店を継ぎ、現在、市街地に4店、郊外に2店の計6店舗を営んでいます。武蔵商店街理事長や武蔵活性化協議会会長を務め、金沢のまちづくりにも力を注いでいます。バスやバス停も、金沢の街並み景観を構成する要素の一つとして、デザインの工夫が必要と考えています。

現在の金沢の交通状況

- 交通手段は自動車利用が増加。だから金沢のまちなかは、いつも混んでいる。(金沢都市圏の交通の自動車利用 S49:39%⇒H7:59%)
- 道路整備も必要だけど、古い街並みが残る金沢も大切にしたい。
- 自動車需要の受け皿対策には限界がある！
- まちなかをもっと楽しんで巡れたらいいな！



自動車以外の交通手段に転換！

バスとチャリだ！



提案の条件設定

金沢のまちなかの回遊手段について、改善案や新しいアイデアを提案

- 対象者：初めて金沢に来た少人数グループの観光客
- 対象エリア：金沢市の「まちなか区域」
- 時間：9:00~17:00 (8時間)
- ルート：金沢駅を起終点 ※兼六園に必ず立ち寄る。
- 移動手段：「バス+歩行」または「自転車+歩行」(自転車は電動アシスト付き)
- 料金：一人5000円程度 (目安) ※食費、交通費、施設利用料含む
- 天気・季節：晴天の春 (GWも含む)

「まちなか区域」



バス組のコンセプト

“ふらっと”一周 “おんぼら〜と” 金沢

— 快適性を高める —
誰もが安全・安心、そして楽ちん

— 初めての人も分かり易く —
ふらっと金沢初体験！

— 金沢のもてなしを高める —
出会う・ふれあう・語り合う “まいどバス”

— ゆったりと移動を楽しむ —
おしゃべりしながら360度味わう金沢の風情

— 金沢らしさを体感する —
飲んで・食べて・オシャレして感じる城下町金沢

どっち?

チャリ組のコンセプト

五感で味わう 金沢路地裏めぐり

香 新緑の**か**おりの中、
 観 新しき街並み、古き町並みを**な**がめながら、
 聴 風の**ざ**わめきに耳をすまし、
 触 わきあいあいと人情、伝統に**ふ**れ、
 味 すきなものを**た**べる

そんなたび きみと一緒にしてみた〜い!!

チャリ組

大家 弘聡 (だいき ひろとし)

1970年生まれ。金沢市 生活道路整備課に在籍。これまで都市計画や都市交通部門に携わり、市民行政の最前線に立つ若手行政マンとして日々、未来の金沢を模索中。愛娘とのサイクリングが一番の楽しみでもあり、通勤手段はもちろんチャリ!! 今回は、初のリーダーとして気合十分です。

北原 良彦 (きたはら よしひこ)

1957年生まれ。七尾、金沢、高岡にある5社の社長または役員を兼務。鳥屋町に居住し、週の半分は仕事や休日の家族サービス等で金沢で過ごしています。石川県にUターンする以前は、大手建設会社に勤務し、京都、東京などに住んでいた経験や海外への視察経験も多数。先進地のまちづくり事情にも精通しています。

清水 潤子 (しみず じゅんこ)

美大を卒業し、自営の看板業を手伝いながら、自身の塑像作品を制作しています。日展、日彫展等へ出品を続ける中、生まれ育った金沢の未来と芸術について日々考え中。晴れた日には自転車に乗って買い物や公園に行きます。「小回りがきいて気持ちがいいのは自転車が一番です!」

自転車は、細い金沢の裏道もすいすい走れるわ。一方通行も関係なし! 目的地まで行けるから、歩かなくてよくて便利よ。

